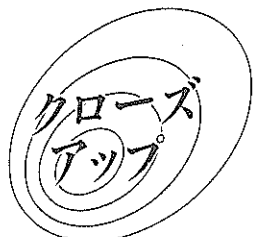


これでいいのか

# 自転車のルール違反

## 死亡事故が急増



道路を横切ろうとしていた自転車に乗った男性がねられ死亡。運転手も一カ月の重傷。警察の調べでは自転車は無灯火（野中バイパス・高知新聞提供）



平成元年、南国署管内で五百八十一件の交通事故が発生、そのうち約二割が自転車の事故。

自転車は便利で健康的な乗り物ですが、自動車と違って身を守るものがなく、一歩間違えば重大事故につながり、昨年も死者の過半数が自転車乗り。

最近自転車乗りのルール違反が目立ちますが、根本から見直す時期に来ているのではないのでしょうか。

### 交通ルールは

#### 命のルール

昨年一年間に南国署管内では、

七十二件の自転車の事故が発生、六十八人がけがをし、四人が亡くなりましたが、このうち七十分六、五十五人が児童、生徒と高齢者、また、自転車乗りの側に過失がなかったのは十六件、約二割で、特に、児童、生徒についてはそれが一割に過ぎません。

最近無灯火や並列、二人乗りなどのルール違反が目立ちます。事故には到らなくてもヒヤッとした経験を持つ方も多いのではないのでしょうか。安全教室や街頭指導などを行っていますが、ま

まるで闇夜のクラス、ドライバーが気付いたときには手遅れです

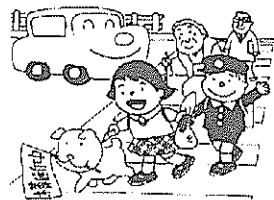


横を通る車はセンターラインを大きく越える

るで効果がありません。教育関係者や警察は、「この問題の特効薬はない。家庭、地域、学校が一体となって気長に取り組むことが必要」と口をそろえます。「ライトをつけるとペダルが重い」「友達と話したい」「かっぱはつとつしい」と理由はさまざま。でもちょっと考えてみてください。交通ルールはあなたを取り締まるためのルールではなく、あなたの命を守るルール

### 春の全国交通安全運動

4月6日～4月15日



なのです。ライト一つをとっても道を照らすだけでなく、相手に自分の存在を知らせるという役目を果たしています。大切なのは自分の命を守り、他人を思いやるという気持ちではないでしょうか。

クローズアップで取り上げたことについて、あなたのご意見をお待ちしています。賛成意見、反対意見、感想、何でも結構です。どんどんお寄せ下さい。

また、「こんなことをみんなに考えてもらいたい、知ってもらいたい」という話題や問題点があれば、南国市広報委員会（南国市大浦甲一三〇一 ☎ 2111 内線423）までご連絡ください。